

1997年  
4月号

No.289

発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 21-1476番  
FAX 23-0715番  
編集 公民館広報部

## 第34回『金沢市公民館大会』



第34回金沢市公民館大会は2月22日・23日市文化ホールにて開催されました。日頃各公民館で創作活動している芸能・コーラスの発表を兼ね公民館相互の協調連携を深めるとともに互いに切磋琢磨し、広く市民の参加を得ることを目的とし各公民館教室での成果も展示し多くの人に見て頂く良い機会でした。22日正午より永年にわたり公民館活動を推進し、地域の社会教育振興に尽くされた副館長・宮坂清氏・15年公民館委員の片山正氏(五宝下)10年の近藤三朗氏が受彰されました。

おめでとうございます。今後も公民館の事業にご協力を賜ります事をお願いします。

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

## 13. 乘善寺上ヶ地町

元禄9年(1696)の本町肝煎裁許附に、乗善寺上ヶ地町がある。(金沢古蹟志)

金沢町名帳にも、文化8年(1811)乗善寺上ヶ地町の軒数11軒とある。

乗善寺は現在此花町1番40にあるが、江戸時代初期の頃に現在地へ移転し、その寺跡を、乗善寺上ヶ地町と呼ぶようになったと思われる。この町は、現在横安江町4番3と3番17の小路より、彦三2丁目4番8と6番24辺りまでである。江戸期より明治5年頃までの町名であった。



## 身近かな歴史探訪

早春の3月16日(日)、金石、大野方面への歴史探訪で同好の人達35名が参加しました。

先ず「大野湊神社」へ参拝し、かなり由緒のあるお宮さんとは聞いていたものの、宮司さんからの説明で、その歴史、社格、又境内のすばらしい雰囲気は思わず襟を正したものでした。

次に余りにも有名な「銭屋五兵衛」の菩提寺で墓前に手を合わせ、町はずれの松林の中に建つ一代の風雲児の銅像に郷土の偉人の偉業をしのび、最後に大野町の近年評判の「大野弁吉のからくり館」で幕末のかくれた科学者の数々の作品を見学した楽しい半日でした。



此花町公民館・瓢箪町公民館合同

## スキーツアー

3月2日午前6:50分 福井銀行駅前支店前に集合して、チャーターバスにて、明成小学校の生徒48名と父兄6名に此花公民館より6名、瓢箪公民館より寺西さん、永井が同行しました。行き先は大日鳥越スキー場です。

8:30分よりスキー場にて、藤原指導員からスケジュールと注意事項について説明がありました。

午前中は学年別の6班に別れ、各班に一人の指導員が担当しました。この日は日曜日でしたがスキー場は混み合っておらず、雪質は堅く少し薄く凍っていました。お天気はくもりで少々寒かったです。午後からフリータイムとなり、2:30分の集合時間までに全員が無事揃い金沢まで帰ることが出来ました。

公民館体育指導員 永井 外志明

## 『学級生募集』女性学級

平成9年度の受講生を募集いたします。

受講対象者	瓢箪地区の女性
会 費	事業内容により(受講生との相談)
受講回数	年6回~7回の予定 昨年受講された方も、そうでない方も多数参加して下さい。
申し込み先	瓢箪町公民館
申し込み〆切	平成9年4月30日

1997年

5月号

No.290



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

FAX 23-0715番

編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 14. 岩根児童公園の老松

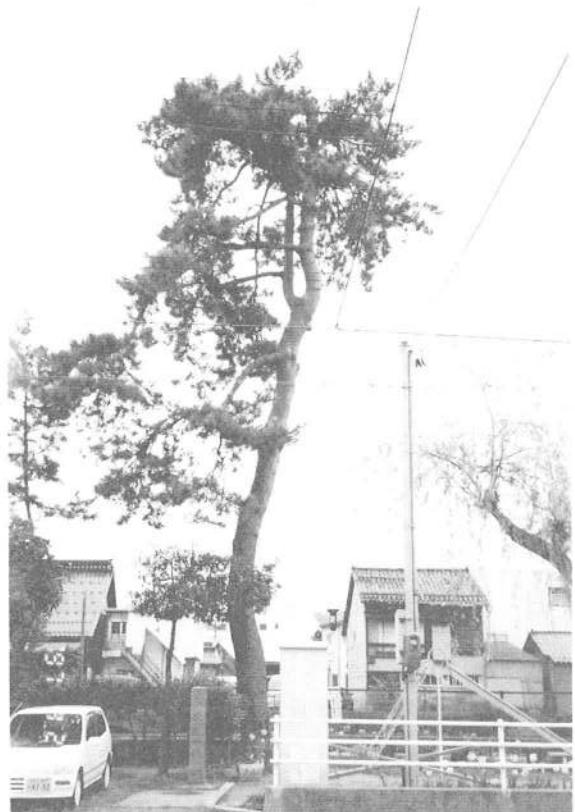
小橋横の岩根児童公園の老松は、江戸時代に前田監物（三千石）の門前にあった数本の松の内、唯一生存している一本である。推定樹齢は、二百年から二百五十年ほどではないだろうか。戦前には数本あったようである。

江戸時代浅野川は、たびたび洪水の被害を受けて、川淵がけずられるのを防ぐため、浅野川天神橋辺りより中島大橋辺りまでの要所に松を植えたようである。藩主の方針で、このように松を植えるのが旧例であった。その名残りを留めている。これも浅野川の景観の一つでもある。

伝説では、昔前田監物が藩主よりこの邸地を賜わった時、河原（現岩根児童公園）にかけて拝領したが、毎度変死人（自殺者）などがありその始末が面倒なため、門前の道路と河原にかけて返上したと言われている。

この公園の辺りに西外惣構堀の最終点があるが、現在地下に埋められ確認が難しくなっている。

現在ある老松は、二百數十年のこの界隈を見つづけてきた唯一の生き証人とも言える。近年虫食いが激しく、市の花と緑の課では樹医の診断を受けて、平成8年再生と保存に成功した。



岩根東部の老松

## ご苦労さまでした 「吉村 武氏」勇退

瓢箪地区少年連盟委員長を昭和52年から平成8年度までの20年間にわたって活躍された吉村武氏（彦三・7）がこの度若がえり西川寛氏（彦三・3）に後を託されて勇退される事になりました。

少年消防団、リーダー養成など子供達の指導に力を注ぎ貢献されました事を心から感謝致します。長い間ご苦労さまでした。

## お 知 ら せ

身体障害者福祉協議会加入の皆様にお知らせします。「オーケストラアンサンブル金沢」の演奏会をお聴きになりたい方に朗報がありますので、関心のある方は下記へお問い合わせ下さい。

沖 茂男（堀川間ノ町）電話21-5328番

4月16日（水）  
入学おめでとうのつどいを開きました。

初めて児童館を訪れる子も多く、お母さんに付き添われながら、恐るおそる階段を登ってくるものの、クラスメートの顔を見つけると、お母さんの声も耳に入らず、一目散に走り寄り遊び出していました。

遊びが一段落した3時半からは、みんな一緒に児童館での約束を聞いたり、児童館の中を探険？したあとゲームをして楽しみました。

最後にはジャンケンゲームをし、一番多く勝ったお友達から自己紹介をして参加賞をもらいました。今年の一年生はどの子も『私は○○○○です。よろしくお願いします』と恥かしがらずにしっかりとできたので、とても驚きました。反対に2年生・3年生の方がモジモジはずかしがってしまった自己紹介でした。

P.S 児童館の開館時間が延びました。  
12時開館～6時閉館です。

冬時刻もありますが、当分6時閉館です。  
時間がなくて遊びに来られなかった子もきてね！

## 5 月 の 行 事

### ☆みんなで「ハイキング」を楽しみましょう

日 時 5月18日（日）午前9時公民館集合  
9時30分出発

行 先 卯辰山扇ヶ丘 徒歩で  
宝さがし、ゲーム遊びを楽しみます。  
メッタ汁を楽しくたべましょう。

帰 り 午後2時30分頃（予定）  
申込み〆切 5月16日（金） 公民館へ  
T E L 21-1476

此花地区の子供達も参加してね！！

### ☆田植え・さつまいも苗植え

恒例の田植え・さつまいも苗植えを行います。

日 時 5月11日（日）午前9時

場 所 湯涌地区

公民館前 集合8時。

出発8時20分（マイクロバス）

申込み〆切 5月8日（月）公民館へ  
直行の方も公民館まで申し込んで下さい。  
小雨決行。各自弁当・水筒持参。  
メッタ汁が出ます。

1997年

6月号

No.290



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 平成9年度 公民館事業計画

平成9年度の公民館委員総会が4月25日（金）公民館委員多数の出席で開かれました。西川体育部長の司会、館長の「今年も公民館委員全員が力を合わせ協力し、体育大会を始め各行事を成功させましょう」と挨拶し、松井総務部長が議長に選出され会が進行されました。

平成8年度決算・事業報告、平成9年度予算・事業計画案などが審議され承認をえました。

◎平成9年度事業計画は次の通りです。

5月18日(日) ファミリーハイキング

10月5日(日) 社会体育大会

6月1日(日) ブロックソフトボール大会

19日(日) ブロックグラウンドゴルフ大会

9日(月) 女性学級開講

11月1・2日(土・日) 文化祭

29日(日) 歴史探訪

9日(日) ソフトバレーボール大会

7月5日(土) 蛍狩り

12月7日(日) ポーリング大会

7日(月) 青少年健全育成会議

1月15日(祝) 成人式

20日(日) グラウンドゴルフ大会

2月1日(日) 麻雀大会

9月21日(日) ウィークディー

15日(日) 立志のつどい



## 平成9年度瓢箪地区団体長（順不同）

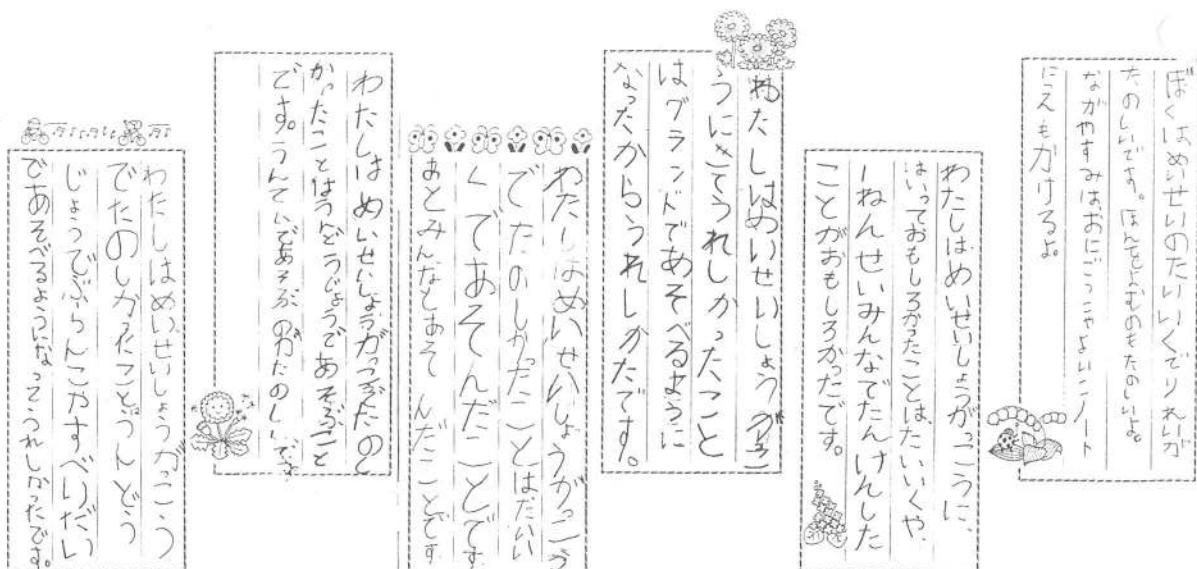
町会連合会長	今井義明	明成小学校長	戸田教一
公民館長	小原英一	消防分団長	宮岸敬博
児童館長	大村昭男	民生委員協議会総務	涌秀春
社会福祉協議会長	池田正一	防犯交通委員会長	中光
育友会長	高屋利行	少年連盟育成委員長	西寛
老人憩いの家室長	田中良	街頭交通推進隊長	三上道

## 平成9年度瓢箪地区町会長名簿

あ岩岩岩岩塩塩塩五五五五古堀笠象象巴横彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦北南母  
 げ根根根根宝宝宝宝餌川眼眼安三三三三三三三三三三  
 ば下根根根屋屋屋屋・・・宝間市町町江・・・555・・22  
 会1中西東下中上下21上町町町下上町町876下中上43下上会会町名

栗村奥芝島東後福一中大小安村今東直山吉谷吉岩素山若沢大辰小釣杉織  
 野上木野川井谷村丸石江上井江内川村倉野本林井村村森沢野田  
 一紀久善雄富一淳耕正勝寿一義良憲正一義宏茂博明  
 男格雄市三雄洋一二一雄夫実栄明秀三博浩則武玲明進繁雄一雄信一識勉

## ぴかぴかの一年生



## 公民館運営審議会委員

委員長	今井義明	委員	涌波秀博
委員	戸田教一	"	西川寛弘
"	池田正一	"	中谷光春
"	大村昭男	"	中島三郎
"	田中良	"	松本幹夫
"	高屋利行	"	石丸泰資
"	宮岸敬治	"	堀部泰資

## 6月の行事予定

6月9日(月)	女性学級・施設見学
29日(日)	歴史探訪 地域内(予定) 詳細は回覧にて

## 平成9年度 瓢箪町公民館委員

館長	小原英一			
副館長	小宮坂清			
務部長	松井良憲			
副部長	中村正一			
部員	山下美千代	市村恵美子	荒木千賀	釣澤明一
広報部長	津田正浩			
副部長	秋野富子			
部員	梅田道子	林由美子	井家利之	竹内光子
教養部長	岡村忠雄			
副部長	松原本尚	江川喜洋	浅川滋	福光省三
部員	柿川寛子			
体育部長	西川恒夫	北川美佐代	永井外志明	
副部長	安田一明	辰村ゆかり	片山正	寺西純子
部員	池川善彦	諸江泰彦	音頭栄美子	
視聴覚部長	米田章一郎			
副部長	中西忠男			
部員	熊橋裕人	山下正巳	船橋靖夫	清水洋治
年部長	本多朝博	中村正治		
副部長	諸江敏博			
部員	三田村英明			
少年部長	岡田陽一	北秀一	中村貞夫	野口純一
副部長	中川由美子			
部員	高木茂雄			
企画調整	吉藤千枝子			
女性学級長	近藤三朗	井波静子	辰橋栄子	中川美和子
副級長	中田邦彦	野口香世子		
体育指導員	桶良之助	若林繁		
事務局	島田晴美			
主事	示野登喜子	藤井初江	廣瀬照代	橋田真知子
事務員	永井外志明	北川美佐代		
管理人	森スミ			

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 3. 漏尿坂

「こんな読み方があるの？」また「どこにこんな坂があるの？」などと、よく聞かれる事がある。

瓢箪町消防分団横より昌永橋を経ぐ通りと、旧塩屋町通りとの交差点より斜めに入る瓢箪町18番11と13の間の小路で、道幅も狭く、目立たない閑静な露路だ。

江戸時代、城下町の道は戦略上、複雑な道、直線の1本の道路でも幅員は一定ではなく、一般的に地主地町人居住地の路幅を平均すると3.2メートルと言われている。現代の感覚で見ると随分狭いものであるが、この漏尿坂は今も昔も変わらない道である。

「亀の尾の記」に「横町に義井（公共井戸）あり。人多く汲むを以て、其荷水滴りて乾く間なし。よって漏尿坂と化す。夜發（夜の遊女）居て夜往来多し。千八百五十石永井舎人邸あり、前に一錢橋（昌永橋をさす）あり。」とある。

この記述から、この近辺の多くの人達が公共の井戸水を手桶などに汲み、坂道を頻繁に運んでいた事を伺い知事ができる。水滴が道に落ちて乾く間がなかったと言う事から、漏尿坂とあだなで言うようになった。

義井（公共井戸）は昭和37年頃まであったと、地元の小西さんから教えてもらった。また、夜になると遊女が居たと記されている事についてだが、当事近くに舟着場や揚場があり、米、木材などの仲買人の店がたくさんあって、人々の活発な経済活動が営まれていた。人の集まる所は今も昔も変わる事なく、煮壳酒屋（居酒屋）、煮壳茶屋（煮壳と兼業する茶屋）など各所にあり、金を懐にした男達を遊女が誘うと言う構図が浮かんでくる。活気ある町人町であった。

稿本文沢市史には、四ツ割坂として記録されている。明治時代に入り漏尿坂を四ツ割坂に名称変更されたのである。兼六園横の尻垂坂を兼六坂に変えたのと似ている。



## 「ファミリーハイキング」

5月18日(日)前日から晴天つづきで朝から暑い日が続いた中、9時児童公園に集合、9時25分に出発しました。前日までの申し込み者は30余名だったので主催者側ではちょっとショックだった……が当日は約80余名の参加者でうれしい悲鳴でした。慌てて心ばかりの参加賞を追加する状態でした。

2才の幼児から上は70才位の人達まで歩道を二列に並び、歩いて目的地「扇ヶ丘」まで行きました。新緑のきれいな山々を見て色々な草花を観察し、「ワイワイガヤガヤ」とおしゃべしながらの1時間30分の道のりでした。扇ヶ丘で、ボール遊び、縄飛び、バドミントンなどで三世代交流をし、女性役員の人が作った「メッタ汁」を美味しく頂きました。(鍋空っぽ)

食後宝さがしをし、山菜取りなど園芸セミナーなども勉強し、2時頃帰路に着きました。誰一人怪我もなく脱落もせず無事終えられた事、同行に協力頂いた役員の皆様、参加された方々にも感謝致します。



## 「田植え・さつま芋苗植える」

瓢箪地区と湯涌地区との交流事業である「田植え・芋苗植え」が湯涌地区で今年も5月11日に行なわれました。瓢箪地区からは約40余名の参加で山間部と市街地との交流とで早や4年目に入り、瓢箪地区の参加者は「勝っ手知った何とか」でさっさと作業に入り約3時間程で完了致し、地元の人達の「メッタ汁」を頂き、今年の第一回目の親睦を終えました。

1997年  
7月号

No.291



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

## 16. 堀川揚場（瓢箪町10番地）

藩政時代、浅野川の下流の村や能登の村々などから、米、塩、木材などを舟で運び、この揚場から荷揚げされたと言われている。（金沢古蹟志　亀の尾の記）

昔、川を堀りひらき木材を川から引き上げた事から、この辺一帯を堀川と言う惣名がつけられたと亀の尾の記に書かれており、「揚場」と記した石碑が現在瓢箪町10番地の遊園地に建っている。

地元の金子介信氏の話によれば、明治から昭和初期の頃は、遊園地の辺りは河岸に石垣はなく、土が露出した部分が巾3間以上あり、川に向けて傾斜になっていて木材を揚げやすくなっていたそうである。また「コード」と言う急勾配の石段の部分が2、3ヶ所あり、近くに米屋が数軒あった。

農民が舟を漕ぎ上ってきて、疲れているのに米俵（5斗俵=75kg）を背負って「コード」から荷揚げする作業はかなりきつかった。

当時向う岸に屈強な男（人夫）が数人いて、その男達に「オーケー、たのんぞー」と言うと、舟で渡ってきて米俵を米問屋まで運んでくれたと言う。このような便利な助っ人を業として、人夫賃を稼ぎにしていた者が町の坂道など至る所にいたようである。

昭和初期になっても、川下の農民が米や各家庭の糞尿汲取などの運送に揚場は活用されていた。秋になると川下の農民が舟で上ってきて、川底を浚渫する姿も見かけたと言う。

また「コード」は、近所のおかみさん達の洗

濯場にも利用されていたが、昭和30年代の後半になると自動車の増加に伴い危険だと言う理由から撤去された。

## 「百万石ちょうちん太鼓行列雑感」

少連育成委員長 西川 寛

今年度、百万石ちょうちん太鼓行列は、此花少連との合同でした。太鼓は、横安江町の島谷さんのお世話で裏安江町会の太鼓を快く貸して頂くことになりました。大きさも手ごろで作りも立派なものでした。今年の太鼓の飾り付けは“ポケモン”、児童館の広瀬さん、少連のお母さん、公民館の方々、大村児童館館長に協力してもらいました。心配していたおにぎり作りも多勢の5、6年、仲良しクラブのお母さん方、瓢箪此花両少連育成委員のおかげで無事終了。

PM 5:40推進隊の先導でいざ、集合地中央公園へ出陣。式典参加。ちょうちん点灯。さあ、ちょうちん太鼓行列一行約200名のパレード開始です。

太鼓のポケモンも生き生きとして沿道から子供達の「ポケモンだ！かわいい！」の声。クラブマックスの武藏ヶ辻交差点には多勢の方々が、暖かく迎えてくれ声援もひとときわ。

明成小学校へ到着。いろいろお世話いただきました瓢箪此花の皆様ありがとうございました。

## 7月行事日程

7月5日(土) ほたる狩り

7月7日(月) 青少年健全育成会議

詳細は各団体へ

7月20日(日) 町対抗グラウンドゴルフ大会

詳細は回覧にて

## 「すずらん学級」

学級長 島田 晴美

本年度 学級長をお引き受けする事となり、とまどい乍らも6月19日(木)明成小学校のミーティングルームにて開級式、続いて明成の間にお茶会をさせて頂きました。その折に自己紹介をして頂き、家族の事等をお聞きしている間にとっても和やかなムードとなり、「この皆様方のご協力により何とか一年間つとめさせて頂けるのでは」という気持ちになりました。今後共よろしくお願ひ致します。

学級の名は「すずらん学級」花言葉は幸せ  
学級生のモットーは「HELP」助け合い

H - HEALTH	健康
E - EVEN	平等
L - LOVE	愛情
P - PEACE	平和

まず健康でみんな平等で愛情をもってみんなで仲良く学級をすすめて行きたいと思います。

合言葉は「HELP!! HELP!!」です。



## おめでとう

児童館長 大村 昭男氏

石川県児童館連絡協議会より、永年勤続表彰を受けられました。今後共健康に留意し、ご活躍されますようお祈り申し上げます。

## 民生委員・児童委員 能崎外喜知氏

このたび、民生委員・児童委員の能崎外喜知さん(笠市町7-16)には勤続25年で多年の功績があったとして厚生大臣表彰を受けられました。心からお祝いを申し上げますと共に今後ますますのご活躍をお祈り申しあげます。

## 中央ブロック

### 「ソフトボール大会」「バドミントン大会」

6月1日(日)市職員保健センターグラウンドにて、ブロック「ソフトボール大会」が開催されおしくも敗退してしまいました。

ブロック「バドミントン大会」は6月22日(日)中央小学校体育館で10チーム対戦で行なわれ、瓢箪町公民館からA・Bチーム2チームが参加され、Bチームは残念ながら一回戦で敗退致しましたが、その人達の応援もありAチームは見事優勝に輝きました。



## 「瓢箪地区をもっと知る会」

瓢箪地区の町名由来と史跡探訪も1年を経過し全町名の由来を終えました。私達の地域は多くの歴史が足元に埋もれているのです。歴史を勉強するには最良の場所であります。

瓢箪地区に住いする方に少しでも地域の歴史を知ってもらい、我町の環境を守り愛情をもって育ててほしいと願っております。

地域の歴史を堀りおこすのは、他人ではなくこの土地に住む人々によって本当の郷土史が生れてくると思います。以上の主旨で公民館において郷土史研究会を設けたいと思いますので参加御希望の方は公民館迄申し出て下さい。

1997年  
8月号

No.292



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

## 17. 舟着場

昌永橋の橋詰（瓢箪町11番9、11の川沿いの下路）より川へ降りる石段がある。ここが舟着場であったと言われている。

亀の尾の記によると、揚場、堀川の項に「大河端村迄ここより船あり、貢三拾五六文なり」と記されている。この舟着場も揚場の範囲に含まれていたのであろう。

金沢古蹟志によれば、利常卿の時より船小屋を建て、御座船がここに繋がれていたと言われ、綱紀卿も再三利用されて、獵場に行く時には二、三艘のお供の舟が従ったようだ。

獵場は大野川の川縁で、今も栗ヶ崎橋の栗ヶ崎町側下手に舟着場があり、そこから栗ヶ崎小学校へ向かって行くと、小学校の裏山に藩主の御宿があった御亭跡がある。

利常卿の頃の金沢は、浅の川、犀川縁に数ヶ所の芝居小屋が建ちならんでいた。あやつり、歌舞伎などを楽しむことができ、京都、大阪にまでも聞こえて、色々の芸人などが集まってきて大変な賑やかさであった。

堀川辺りも兵庫や須磨、明石におとる事なく、毎日荷物を揚げ、荷積の人々の宿も多く「傾城御免あり」と言われるほど凄い賑わいであったと言う。

一方では次第に押買（売手が望まないのに無理やりに買う）や盜賊などが増えたため、厳しく指止めになったと金沢古蹟志に記されている。

昭和の後半、岩根児童公園に「小橋舟着場跡」

と石川県民運動推進本部の看板が立っていて「積荷は下流の堀川揚場で陸揚げされたが、人の乗り降りはこの舟着場でおこなった」と書かれていた。

しかし、ここは江戸時代前田監物邸の門前であり、舟着場に使用することは許されるものではないと考えられる。もし使用したとすれば、明治時代になってからのことであろう。今後の研究課題である。

## 「第1回 歴史散歩」

広報部長 津田 正浩

台風一過、さわやかに晴れた6月29日（日）、今年第1回目の歴史散歩を開催し、金沢子来町にある宝泉寺を、総勢40数名が参拝しました。まず住職による御経を、皆、神妙に正座して聞き、その後スライドを見ながら、摩利支天靈像が安置してある由来と法話など、時間にして40分間程、本当に有難い御利益のあるお話を聞きました。そして私自身も今までの色々な生活について反省させられる事が沢山ありました。

そしてもう1カ所、東山の作田金箔を訪ねました。金箔は全国90%が、ここ金沢で製造されると云われる程有名で、若くてハンサムな職人から、地金から金箔が出来上がるまでの工程を、サンプルを見ながら説明して頂きました。厚さ1万分の1ミリという、物が完全に透けてみえる程薄い金が、ふんだんにちりばめられてある色々な商品を見ながらため息をついて、せめて金粉入りのお茶をと飲みほしました。本当に良いお天気で心地良い汗を流しながら帰路につきました。

## 「螢 観 賞 会」交流事業

夕方から小雨になりだした7月5日(土)の午後6時30分、瓢箪・此花地区の交流事業「螢観賞会」が湯涌地区を会場に行なわれました。約150余名の参加者がバスに乗車する時は降ったり止んだりで湯涌公民館に着き中島先生(彦三・5上)の螢はオスの方が山からメスの螢の所へ通うと(人間の世界と良く似通っている)説明を受け現地に、ライトを点滅させると同じに山の方から螢が寄って来て、夜の闇を照らし、きらびやかな世界に遭遇しているつかの間、雨が本降りになり、名残りおしいが帰路となりました。参加された方々風邪ひかれませんでしたか?



## 「不審者に注意」

青少年健全育成会議

今年最も暑かった7月7日(月)公民館2Fホールを会場に武藏ヶ辻交番 沢野勉第二所長が青少年健全育成会議で講演を行ないました。

『私達が住む地域に犯罪がなく、明日を担う少年達が健やかに育ち、非行のない明るい活力あふれる地域である事は、私達住民の全ての願いであります。地域住民が一体となって安全で平穏な地域社会づくりに協力する事、犯罪やトラブルなどに巻きこまれないように。もし巻きこまれた時は一人で悩まず気軽に相談して欲しい』と1時間30分の講演はあっという間でした。

## 交流事業

### 「グラウンドゴルフ大会」開催

瓢箪町・此花町公民館G・G大会は20日(日)久し振りの晴天の元、金沢市北部公園にて約130余名の参加でクラブさばきを競いました。

例年の開催地と違って「ポチャン」と池に落ちる珍プレーも続出、参加者は心地よい汗をかきホールを廻り続けていました。

二回目の交流とあって顔なじみになり、和気あいあいとした雰囲気の中にも真剣な表情でプレーする姿が見られました。



成績は次の通りです。

団体優勝 堀川間の町Aチーム

北風、村本、馬医、清水、近藤 合計点352

2位 彦三・7 Aチーム 359

3位 あげば会 370

個人男子の部 1位 柴田 英樹(彦三・7)

2位 寺林 昭彦(堀川・B)

3位 芝木 善市(岩根西)

4位 若林 繁(彦三・5上)

5位 北風 秀典(堀川A)

6位 諸江 泰彦(塙下・A)

7位 音頭 一正(彦三・7A)

女子の部 1位 中崎美津子(ハイカラズ)

2位 田中むつ子(彦三・7C)

3位 中山 厚子(彦三・7C)

4位 山下キミ子(此花)

5位 石丸 美雪(ハイカラズ)

6位 山内トシ子(巴町)

7位 山田 紗代(スズラン)

おめでとうございました。

1997年  
9月号

No.293



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

## 18. 惣構の城と内外惣構堀

## (1) 惣構の城

金沢城は惣構の城と言われている。

惣構の城とは、城郭と武家屋敷、商人や職人の町家、寺院などを含めた広範囲の施設をとり込み、その外側に環濠をめぐらし、その囲み全体を防御施設とした形態であり、金沢城（本城）を見る時は、城下町全体を見て考える事が必要である。

平山城である金沢城は、小立野台地の先端を百間堀で切り離して、城の回りを白鳥堀、大手堀、宮守堀によって本城を固めているが、百万石の大名の居城としては決して大きな規模でもなく、難攻不落と言える堅城とは言い難いと言われている。

室町から戦国時代の頃は、動乱の中で守りを主眼として城が築かれていたため、ほとんどが険しい山岳を利用した山城であった。

例えば、一向一揆と戦った富樫政親の高尾城、上杉謙信の詩「霜は軍營に満ちて秋氣清し……」で有名な七尾城、越前朝倉義景の一乗谷城、いずれも北陸を代表する山城である。

山城の利点は、山頂までの地形を利用し、城方の有利な点で集中攻撃ができた事であり、攻城方は急坂によって体力の消耗を強いられた。平城は、その欠点を惣構で補ったのである。例えば、町中に迷路を作る、町中の丘段を利用し保塁を作る、仕掛けを作るなどである。また町人を戦闘員として使用できた。

中世の末期の畿内には、集落の回りに環濠をめぐらして城砦化したものが珍しくなかったようである。具体的には、商人の町「堺」などは周囲に濠をめぐらし、土塁や堀を構え、外の出入には木戸口を設けて外敵に備えたと言われ、室町時代の京都を描いた「洛中洛外図屏風」には、町々に木戸を設けて備えを固めている様子が描かれている。

寺院では、山科の本願寺なども信徒の住む町も含めて濠や土塁で囲んだ城構を持っている。その後、根津石山へ本願寺が移転し、更に強固な城構を持ち織田信長を悩ませた。また真宗の寺内町も同じような環濠集落が作られていたと言われている。

一次号へつづく

「社会体育大会」  
プログラム掲載のお願い

平素は、公民館の事業・活動をご理解いただき、多大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

おかげをもちまして公民館事業も順調に推移いたしております。さて、学校改築のため中断していました社会体育大会は、今年度新しく新設されたグラウンドで記念となる大会を10月5日(日)に開催するため準備しているところです。

つきましては、貴社（殿）にはご出費ご多端の折から誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解の上、例年同様広告の掲載に、ご協力賜りますよう何卒よろしく、お願い申し上げます。

なお、本年度は紙面の関係等で広告協力料を10,000円と5,000円にさせていただきますので、お手数でも広告内容・広告区分・掲載の可否等変更がございましたら、公民館（221-1476）までご連絡下さるよう、併せてお願い申し上げます。



## 三世代交流 「ラジオ体操」

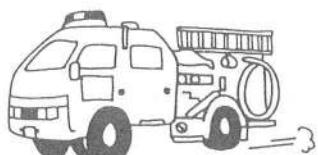
地域住民三世代交流を目的とした「一斉ラジオ体操」が8月1日(金)明成小学校グランドにて行われました。少連・公民館・東健会員・地域の人達約200余名の参加によって朝6時20分頃からぞくぞく集まりラジオ体操を行ないました。体操後、皆でスイカを食べながらの三世代交流の一時を楽しみました。

計画を立て準備する時間が短いため参加人数が把握できず大変心配しましたが、心配をよそに多数の参加者で久し振りに近所の人達に会えた喜びを語って時間を忘れる人がいる程で「又このような機会を設けてほしい」との声もあり、役員一同感謝致しております。

## 「地域の消防などに貢献」

長年にわたり地域で消防活動に取り組んで来られた瓢箪町消防分団長 宮岸敬治氏が東警察署長よりこのたび表彰を受けられました。

安全な日本にも陰りが出来、県内でも放火事件が多発しています。一分一秒たりとも気の休まる事のできない消防隊だと思いますが、今後もご活躍を期待しお喜び申し上げます。



## 児童館サマーキャンプ in 三国山 (津幡町河合谷)

8月9日(土)～10日(日)、台風を心配しながら総勢60余名で出発。幸いにも台風の影響はなく、下界(?)では36.8度の猛暑の頃、山では時折の強い風や厚い雲が気にかかるものの過ごしやすく、夜には戸田校長先生(明成小)のもと星の観測会もできました。グループ毎の火おこし、野外炊飯もなかなかの手際よさで余った時間には、校長先生のアドバイスでカブト虫やクワガタ虫捕りに挑戦。収穫もあり、大喜びでした。

また夜11時すぎにゾロゾロと虫探しに出かけたことも楽しい思い出となったようでした。



## ~~~~~ 9月の行事日程 ~~~~~

☆日帰りバス旅行 9月21日(日)

比叡山方面

詳細は回覧にて

☆社会体育大会 10月5日(日)

雨天中止

午前9時より

会場 明成小学校グラウンド

☆秋祭り 9月15日(祝日)

獅子舞い 午前8時より 地域一円披露  
獅子舞保存会

☆敬老会 9月4日(木)

ルネス金沢にて

1997年

10月号

No.294



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

18. 惣構の城と内外惣構堀 一前号のつづきー<sup>そうがまえ</sup>  
(1)惣構の城

金沢の尾山御坊も同じような防禦施設をもつた寺内町であった。柴田勝家軍の勇将佐久間盛政は、寝返りした一向衆徒に案内させ、小立野口より尾山御防の搦手を突き落城させた事などから、寺院と言えどもかなり強固な城構であったことが伺い知る事ができる。

しかし、武士の城郭と町人が住む城下町を一体化し、防禦施設を作り、惣構の城を本格的に築いたのは荒木村重の攝津有岡城（国の史跡指定）であり、織田信長の岐阜城の惣構と共に古いものの一つである。

荒木村重が惣構の利点をたくみに取り入れた有岡城は、本城はわずか3ヘクタールの小規模なものだが（参考=金沢城本城は約29.5ヘクタール、姫路城約21ヘクタール）惣構全域の広さは54ヘクタールであり、なんと本城の18倍の広さである。

天正6年（1578）2月8日、織田信長は大軍をもって一挙に有岡城の荒木村重を攻めたてたが、平城の小規模な有岡城は守りが固く、攻城軍は大きな損害を被り、力攻めから長期戦に切り換えるをえなかった。籠城は約10ヶ月にも及んだが、落城の主因は城主が城外脱出した事による籠城側内部の謀叛であった。この城の強さは言うまでもなく惣構の城構である。この籠城戦が、石山合戦と共に惣構の有効性を実証した戦いでもあった。

一次号につづくー

## 「市民震災訓練」に対するお礼

8月31日に実施された瓢箪・此花合同の「市民震災訓練」は、当初予定の800人規模から実際に1,000人（瓢箪地区約700人）の方々が参加されました。

神戸大震災を契機として、平成8年6月に地域の皆様方の期待をこめて結成された瓢箪地区自主防災連絡協議会は“習うより慣れろ”を合い言葉に訓練を重ねてきましたが、迅速かつ整然とした訓練の成果がここに遺憾無く発揮されました。

これひとえに、地域の皆様方の災害に対する深いご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

災害は時・規模を選ぶことはできません。繰り返しの訓練が必ず役立つことは既に実証されているところであります。

自主防災連絡協議会といたしましては、今後、訓練がマンネリ化することの無いように多様な災害に備えて訓練内容に工夫を凝らして実施していくこととしております。

どうか、地域の皆様方にはこれからもご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ市民震災訓練参加のお礼に替えさせていただきます。

瓢箪地区自主防災連絡協議会・瓢箪地区町会連合会会長 今井 義明



## 「女性ふれあいトーク」中央ブロック

市長を囲み中央ブロック女性との「ふれあいトーク」が9月1日(月)、松ヶ枝公民館にて開催されました。

女性のまちづくりの関心を一層高める地域社会、女性の参画を促進するためいろいろな意見交換が行なわれました。

明成小学校が新築され無事スタートした事に対してのお礼を述べ、「スポーツ開放、又夜間体育館など地域のために開放して頂ける事は大変喜ばしい事であるが、玄関が2つありますが使用するに当たって不都合な点があります。」との要望が出され、「学校と相談し、善力をつくします。」とのお答えを頂きました。又、樹木、道路、駐車場の事など要望が出され、市長とのトーク時間が超過する程意識ある1時間30分でした。子育てに忙しい時間をさいて出席した「ヤン・ママ」ご苦労さまでした。

## ☆故 池田正一様のご冥福をお祈りします

此の度、故池田正一様には先月末の発病以来懸命の治療もかなわず此の9月14日に亡くなられました。永年にわたり社会福祉にひたむきな会長のお姿をしのびその高邁なお人柄を思う時痛哭の涙を禁じ得ません。茲に生前のご努力に心から感謝申し上げ、み縁の安からん事をお祈り申し上げます。

## //元気溌剌のお年よりの集い//

秋晴れの爽やか9月4日(木)、70余名のお年よりが今年も「ルネスかなざわ」で敬老会の楽しい一日を過ごしました。

御供田幸子一座の笑いと涙の舞台にやんやの

拍手を送る元気な姿に今後も平和で、お互いがいたわり合う世の中であるという事を確信した次第です。

## 秋祭り「獅子練り歩く」

月一回、9月に入って毎日特訓し、9月15日安江八幡祭に向けての練習を行なってきた獅子舞実行委員会の晴れ舞台、当日小雨の時々降る中、約250余名の参加者によって八幡宮でお払いを受け、校下を練り歩きました。

稚児、三ツ刃など勇姿な舞を披露し、玄関先、ひろみなどで応援する住民のわれんばかりの拍手喝采をいただき、2時30分頃終了致しました。



## ~~~~~ 10月行事日程 ~~~~

### ☆社会大育大会

10月5日(日) 明成小グラウンド

### ☆ウォークラリー

10月12日(日) 延期

### ☆女性学級

10月14日(火) 公民館

### ☆公民館委員研修会

10月25日(木) 内浦町

## \* 文化祭の作品募集中 \*

1997年

11月号

No295



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### (1) 惣構の城と内外惣構堀 一前号よりつづき一

ポルトガルの宣教師ルイス、フロイスが、荒木村重を訪ねた時の事を「我等は宵の口に伊丹と称し甚だ壮大にして見事なる城に着きたり…」と書簡で本国へ伝えている。

荒木村重の家臣であった高山右近は、築城の名手と言われた。後に前田家の客将となり金沢城惣構の設計をしたが、惣構の城について熱知していた事は言うまでもない。

戦国時代は破壊の時代と言われているが、一方では農業の生産を基盤とした社会から、商業を重視して楽市楽座令を下し、商人による経済活動を活発化させ、城下町を整備し、本格的な近世の城郭へと変化させた新時代の建設の時期とも言えるのである。但し城下町を持つ城総てが惣構とは言えず、秀吉の築いた城で惣構を設けたものは、平城か平城に近い平山城であった。

惣構の城として特に有名なのは大阪城である。大阪城は、豊臣秀吉が天正11年(1583)に着工、天正13年(1585)天守閣完成、天正14年(1586)二の丸工事を始めた。天正18年(1590)小田原攻めで、秀吉は小田原城の惣構を見て惣構を重視し、文禄3年(1594)大阪城の惣構工事を開始した。慶長3年(1598)三の丸工事が始まり、やがて三国無双の巨大な堅城が完成した。

この惣構は、慶長19年(1614)大阪冬の陣の際は土壘上に厚板で堀を設け、弓、鉄砲の間を作り、要所には矢倉を設け、濠には三重の柵を作ったと言われている。その結果20万の徳川軍を相手に、約1カ月一步も敵を近寄せなかった(岡本良一「大阪城」)。

-次号につづく-

## 日帰りバスの旅「比叡山・湖都のお寺巡り」

秋晴れの好天に恵まれた9月21日(日)午前7時にJR西日本の大型バスは、42名の旅行好きな人達を乗せて、一路滋賀大津を目指して走り出した。昨年と同じガイドの木下絹枝さんの流暢な説明に案内されて、まず着いた所が西国第13番石山寺。その名の通り世界的にも珍らしい珪灰石でできた広大な庭園が、私達を感動させた。このお寺は、縁結び、安産、福徳の靈験あらたかな秘仏を御守りしてあると云う。

続いて訪れたお寺は、天台宗三井寺。このお寺には重要文化財の釈迦堂や弁慶の引摺り鐘、左甚五郎の龍の彫刻などがあり、皆、熱心に見入っていた。そして最後に比叡山延暦寺をお参り。標高848mの中腹にあるこのお寺は、伝教大師最澄が開いたものです。暗い本堂で有難い講話が聞けたことが幸せであった。帰りは、真っ青な琵琶湖の沖に浮かぶ竹生島を見ながら「琵琶湖周航の唄」を合唱したり、カラオケを歌いながら、夕闇のせまる金沢へ戻ってきました。

運転手の榎木さん、ガイドの木下さん、そして皆さんどうもおつかれさまでした。



## 社会福祉協議会長 決まる

故池田正一氏に代わり半年の残任期間中村正一氏に決まりました。地区の皆様ご協力ご支援を宜しくお願い致します。

## 社会体育大会中止のお詫び

第22回社会体育大会の実行にあたり地区の皆様方より心温まる多くのご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

大会の準備も前日までに全て完了し大会を待つのみとなっていましたが大会当日未明よりの雨のため、無念ではありましたが止むなく中止させていただきました。

なお、作成した諸用具及び賞品につきましては、一部は瓢箪児童館、瓢箪町保育所、藤陰・金沢幼稚園に贈呈させていただきました。その他は文化祭等これから事業に有効に使用し、次期社会体育大会まで保存可能なものについては保管し皆様のご好意に添った大会費用の運用をして参りますので、今後ともよろしくご指導の程、お願ひいたします。

社会体育大会実行委員長

## 児童館こども夢スタジアム

〈10月12日第2土曜日〉

市内の児童館29館の子ども達や厚生員が一同に城北児童館に集い遊びました。館内外には、各館の力作の作品が並び、我館も“ひかりの点描”なるものを展示しました。

また、音の出る玩具やぐにゃぐにゃだこの手作りコーナーを体験したりピエロさんの風船ショーや有志児童による太鼓演技、一輪車演技なども披露されました。お昼には各地区の母親クラブのお父さんお母さん方の協力で格安の模擬点も開かれ大盛況。ゆっくりとしたのいい時間をすごせた一日でした。

## 五郎島のさつまいもほり 10月18日(土)

恒例のさつまいもほりに30人が路線バスに乗って一路栗崎へ。日頃、マイカーでの移動に慣れている為かワンマンバスの押しボタンや整理券が珍らしそう。乗り込む前の注意も忘れてワイワイ、ガヤガヤ大はしゃぎ。

いも畑でもその延長でアッという間に掘り起こし、あとはおかしを食べたり、おにごっこをしたりと、遠足気分を充分に満喫した今年のいもほりでした。

## 「一人ぐらし老人と小・中学生の交流会」

民生・主任児童委員 松島 昌子

民生・児童委員全員一致の「やりましょう!」の掛け声でスタートした交流会は、明成小の新校舎で行われました。小学生はJRC委員会の歓迎レセプションゲームと鼓笛、小将町中学生のボランティア委員会は和室でお茶の接待・食事のお手伝いなど、催しはなごやかに進行し、最後はお年寄りに手紙とプレゼントを差し上げ、握手をしてお見送りしました。

三者合同のイベントは初めての試みで、各団体の日程調整、数カ月前からの準備、前日の食事の仕込みなど大変苦労をしましたが、「久しぶりに賑やかな食事で美味しかった！」のお年寄りの歓声に一同の疲れも吹っ飛び、開催して本当に良かったと感無量でした。

今回、各先生方の頭の下がる指導、力強い応援に「ひらかれた学校」の認識を新たにし、今後とも、地域のなかで大切な子供達を育み、お年寄りを見守って行きたいと思いました。

## 歩こう会で表彰された方

毎月第1日曜日行っているひさご歩こう会に参加している方で下記の方々が石川県健民運動推進本部より表彰されました。これは健康にも大変よく、又史跡の勉強も兼ねた一石二鳥の楽しみがある集いです。

### 受賞者

銅賞 川島とし子（象眼下）

中江 君子（横安江町）

銀賞 山嶋 一江（五宝中1）

金賞 馬場 寛（古餌指町）

川越 文子（北親会）

百回賞 田中美智子（塩屋上）

## 11月行事日程

11月1・2日（土・日） 文化祭

11月9日（日） ウォークラリー

1997年  
12月号

No.296



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

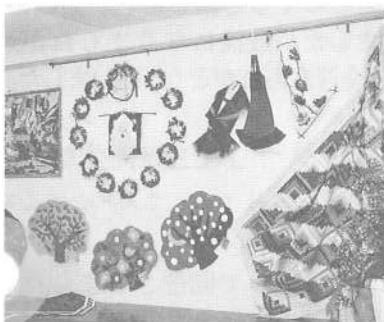
TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 第22回文化祭

第22回瓢箪町公民館文化祭は11月1日(土)・2日(日)の2日間に亘り開催されました。

明成小学校4年生の絵画・女性学級のアート・習字・陶芸・書道・俳句など各学級の作品、一般の方々の作品など約650点余りが2F大ホールに所狭しと展示され一年間の学習成果発表会場となりました。児童公園では、餅つき大会、模擬店、青果即売・bingoゲームなど多数のコーナーを設け大盛況の文化祭でした。色々とお世話になった町連、各教室の先生、作品出品者、公民館役員のご協力の賜と感謝し恐縮ですが、紙面にてお礼申し上げます。



女性学級の力作



美の花展



子供絵画「夢」



「大根、白菜」はいかが~



おいしい焼そば まちきれないなー



まだbingo出ないかな~

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

18. 惣構の城と内外惣構堀 一前号のつづきー

### (1) 惣構の城

城と言えば、天守閣と石垣を積んだ城壁を想像するが、第一線の惣構はいかに素朴なものであったかは、国立博物館「大阪冬夏の陣絵画」を見れば想像できる。

その惣構を撤去し、三の丸、二の丸の堀を埋められた城は、夏の陣の城攻めでは2日で落城した。この点について徳川方の細川忠興は「真田幸村、後藤又兵衛の手柄は古今ともないほどのものであり、木村重成、明石掃部の手柄も立派なものだ」と称賛し「また勝敗は半々であったが、けっきょくこちらの人数が多いから勝った」と国元に報告している（日本の歴史13巻中央公論出版）。延べ約10日間持ちこたえさせたのは、野戦で豊臣方の将兵の奮戦によるところを裏付けた記述であり、惣構のない平城はいかに無力であったかを知ることができる。

その後、江戸城が惣構を完成させたのは寛永16年（1639）であったと言われ、大阪城の約40年後である。これも大阪城の影響によるものであろう。

また金沢古蹟志に、天正11年（豊臣秀吉大阪城着工の年）に秀吉が丹羽長秀に送った判書に「自然加賀一揆など催しおこり候とも、又左合戦に不被及、彼金沢之惣構を相抱、丈夫之覺悟於在之者云々」と記されていることから、金沢城はすでに惣構の城構であったと言うことがわかる。前に述べたように山科本願寺、石山本願寺と同様に尾山御坊の時代より城構があったものと思われる。後に佐久間盛政が入城し一の丸、二の丸、惣構を構築して、荒削りながら城の形態を整え利家がその後を引き継いだものであり古くから惣構の城として構築されていたものである。

〔お詫び〕前号、題目の表示に間違いがありましたので訂正します。

誤 1 惣構の城と内外惣構堀

正 18 惣構の城と内外惣構堀

(1) 惣構の城

## 公民館委員の秋の研修会

### 「穴水と能都・内浦町を訪ねて」

広報部長 津田 正浩

晩秋肌寒く感じられる今日この頃、私達公民館委員は、10月25、26日の2日間、真っ青な海空に、カモメが乱舞する能登方面へ秋の研修会に出かけました。

まず、穴水歴史民俗資料館と能都町真脇遺跡縄文館を訪ね、穴水町とゆかりの深い長家の古文書や、町内各所より出土した土器、石器、イルカの骨等により、当時の生活と文化を学びました。一行は、4時頃に宿泊先の、能登勤労者プラザに着き、入浴後、一時間、今年度消化した公民館行事の反省と今後の行事の打合せ等について意見を交換しました。

また、翌朝も朝食後、文化祭についても話し合った。そして雨上りの9時頃、のと海洋ふれあいセンターを訪ねた後、キャッスル真名井で昼食を済ませ、帰路についた。

2日間を通じて私達は、能都町や穴水町の古い歴史と生活文化に触れたり、今後の公民館の運営等についてもじっくりと話し合い、実のある研修会になりました。最後になりましたが、松井総務部長、安全運転ありがとうございました。

## 「ウォークラリー」で三世代交流

瓢箪地区少年連盟主催の「ウォークラリー」が11月9日（日）朝9時明成小ピロティーに集合、約70余名の参加によって開催されました。12チームに分かれ地区の文化、歴史を勉強しながら問題を解き、時間と正解で点数を競い合い楽しい3時間ありました。参加者の中には「三世代交流の場であった」との声もあり、今後も色々な団体にも協力して頂き企画したいと思っています。

少連（記）

## 12月行事日程

12月14日（日）ボーリング大会

会場 ジャンボボール（泉本町）

1チーム 4名（小学生以上）

個人参加も出来ます。

詳細は各町会へ案内済みです。

1998年  
1月号

No.297



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

## 地域ぐるみで事業の推進

公民館長 小原 英一

皆様方には、お揃いで晴れやかな新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、旧年中は公民館事業に対して、並々なりぬご支援とご指導をいただき事業の運営に当たりましたが、誠に残念であったのは新しく完成した明成小学校運動場での社会体育大会が未明よりの降雨のため止むを得ず中止となったことです。日夜開催準備等に奮闘された役員の方々、ご協力をいただきました地域の皆様に改めてお礼を申し上げます。

本年も社会教育・住みよい地域の環境作り・何方でも参加できる魅力のある事業を推進するにあたり引き続き地域の方々の知恵をお借りし事業の向上を計りたいと思います。

また、生涯学習の運用にあたっては地域住民の多様な学習ニーズに応えた様々な学習活動がどう展開されるべきかさまざまな研修等をつくり検討したいと考えています。

今年は、館報「ひょうたん」が300号を迎えるとともに瓢箪町公民館も設置50周年になろうとしています。

これからも、皆様ともども明るい住みよい街づくりに専念いたします。どうかご支援、ご鞭撻をお願いするとともに地域の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、私の年頭のご挨拶にかえさせていただきます。



## 21世紀に向けて町会の新展開時代へ

町会連合会長 今井 義明

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

皆様には、すがすがしく新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

おかげさまで今日まで皆様方の暖かいご支援、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

とりわけ昨年は町会連合会結成40周年記念事業、自主防災震災訓練等に多くの方々のご賛同をいただき重ねて厚く御礼申し上げます。

平成9年春には明成小学校新校舎が完成し、当地域に新たな発展の活力と希望を与えてくれました。

金沢市世界都市構想プランの中で瓢箪地区周辺も21世紀に向けて大きく変化し躍進するひびきが感じられます。

町会連合会結成40周年節目の機会に多くの地域住民のご協力を得て記念誌「大いなる感動未来への道」を発刊することができました。

当地域の今日迄の歴史、文化、伝統そして各種団体の活動振り等を次世代に伝えて行き、私達の諸先輩の方々が歩んできた道を振り返り乍ら未来に向けて新しい街づくりの第一歩になればと思います。

今、時代は21世紀に向けて大きく変化しようとしています。

世の中は一人で生きる事は出来ません。昔から云われる向う三軒両隣にいる同志と手を結んでより良い町づくり、より充実した生活の実現のために各位のすばらしい英知と力を出し合って、次世代に向けて町内会の新しい展開、発展に期待したいと思います。

年頭に当たり皆様方のご多幸ご繁栄を祈念いたしますと共に本年も格段のお力添えをいただきますよう懇願申し上げて新年のごあいさつといたします。

頌

春

町会連合会長	今井 義明	防犯交通委員会長	中島 光春
公民館長	小原 英一	少年連盟育成委員長	西川 寛
児童館長	大村 昭男	街頭交通推進隊長	三上 正道
社会福祉協議会長	中村 正一	遺族会長	盛永 寛
老人憩いの家室長	田中 良	身体障害福祉協議会長	沖 茂男
明成小学校長	戸田 教一	東部鶴亀会長	金子 介信
消防分団長	宮岸 敬治	南部鶴亀会長	桧木 喜一郎
民生委員(児童)総務	涌波 秀博	西部鶴亀会長	笹木 良夫

## ===== 成人おめでとう =====

町会名	氏名	町会名	氏名	町会名	氏名
母衣町	鷹栖 由香	彦三六番丁	松原 雅洋	象眼町下	中村真由美
	山下 忠彦		島田健太郎		土橋 奈緒
南睦会	吉田真由美	彦三七番丁	竹田 信義	五宝町中一	宮本 茜
	宮本 千華		岩本 匡史	五宝町中二	吉藤 啓太
	安田 智美	横安江町	畠 真央理		山崎せつ子
北親会	山田 豊		高橋 沙知	塩屋町中	山本 達也
	高橋 久子		新田裕希子	塩屋町下	清水 早苗
彦三二番丁上	佃 朋子		任田 有考	岩根東部	角間 千佳
	櫻井万里子		松本 祥昌	岩根町西	武田 浩一
	岡本 晴恵		北市 奈美	岩根町下一	寺西秀之輔
彦三二番丁下	西田 智彦		大浦栄里子		東崎 志伸
	石丸 里奈	笠市町	勝田 佳広		深山 歩
彦三三番丁	織部 仁		大丸 信人		林 雅紀
	大村眞智子		熊田 了士	あげば会	山本 晃司
彦三四番丁	布川 哲嗣	堀川間ノ町	近藤 朋子		渡部 晃市
	穂田奈津子		清水 永子		室崎 亮平
彦三五番丁上	加賀谷 美紀子		斎藤 達也		山崎美由紀
彦三五番丁中	山下 敦子	象眼町上	早瀬 尚紀	校下外	山崎亞紀子
	山本 紀子				

## 「記念式典」行なう



//瓢箪地区町会連合会結成40周年のつどい//  
町連結成40周年の記念行事については地区の皆様には格別のご協力を賜りまして、過ぐる11月29日(土)午後5時より、山出市長始め多数の来賓のご臨席をいただき、各種団体長、町長、町会功労者等70余名の記念式典がスカイホテルで行われました。当瓢箪地区今日の発展向上にあづかった幾多の先人の偉業を偲び、今後に向って一路前進あるのみとの誓いを新たにした記念式典でした。

### 安田先生に教わって「ピザ」作り

11月27日(木)明成小学校家庭実習室をお借りして女性学級「ピザ」作り教室を開催致しました。

参加者20名で生地作りから空焼きし、具を乗せ焼き上がるまでの約15分が胸ドキドキでした。

出来上がり試食まで「ワイワイ・ガヤガヤ」とあっという間の2時間でした。

「思ったより重労働だった。」「多数の参加者と作る楽しさを味わえて、とっても良かった」また途中で電気が消えるハプニングもありましたが、和気合々と楽しく、今回の講師に彦三3番丁の「安田恒夫氏」にお願い致し「先生の違った一面見せて頂けて」との評でした。



## 1月の行事日程

### 1月3日(土)新年互礼会

午前11時 文化会館 2Fホール

消防初披露

午前10時50分 児童公園

### 1月10日(土)新春かるた大会

午前10時 児童館

### 1月15日(祝)成人式

午前9時30分 受付開始

午前10時30分 式典開始

スカイホテル18F

### 1月25日(日)獅子まい初けいこ

午前11時 公民館 2Fホール

### 2月1日(日)麻雀大会

公民館 2Fホール

詳細は別途にて

## 地域福祉の充実をめざして

社会福祉協議会会長 中村 正一

輝かしい年明けを心よりお慶び申し上げます。日頃から地域福祉事業に対しご理解ご協力を賜っておりますことに対し心からお礼申し上げます。

さて、誰もが住み慣れた地域社会において必要な福祉サービスを受けられることや、地域住民やボランティアグループによる福祉活動の促進を図ることなど、地域福祉の充実がこれから課題となっています。

在宅福祉の進展に伴い、その拠点として、ディサービスセンター、在宅介護支援センター等の公的福祉サービスに加え、地域において社会福祉協議会やボランティアグループによる人々が参加する福祉活動の組織づくりが急務となっております。

今年も地域福祉の充実に向けて努力していくつもりですので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

## 自然のすばらしさ

老人憩の室長 田中 良

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は老人憩いの家の事業運営に特別のお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。

平成の時代も9年が消え去ってしまいました。きょう今日世界一の長寿国とも言われる日本において車社会の便利さはすばらしいことであるが、しかし、そこには一長一短と言う言葉があるように、今からの人生において健康不安時代がやって来ているように思われます。

皆様も大自然のすばらしさ、美しさを身に染みて感じては如何ですか。我々人間は自然の基に生き、又、自然が人間の生き方を教えてくれているのではないかと思う。

皆様には向寒の折、健康には充分にご注意され、そして高齢者相互支援や友愛精神の発揚など活力ある明るく住みよい健康的な長寿社会を築いて行こうではありませんか。

本年も暖かい御支援を賜りますよう祈念し新年のごあいさつといたします。

## みんな遊びに来て!!

金沢市立瓢箪児童館長 大村 昭男

新しい年を迎える地域の皆様には益々ご健勝のことと、お慶び申し上げます。

瓢箪児童館では、小学校の高学年に人気のあるキャンプや、低学年に好評のお花見遠足とも掘りなどの野外活動をはじめとして、毎月色々な行事が計画され、館報やポスターを通じ、また明成小学校の先生方と連絡をとりながら行なっています。

専従の職員2名を中心として、20名を越す協力メンバーによってその時々の規模に応じて支援していただきますので、さいわい子供達は事に、遊びながら様々な体験をして明るい笑顔で帰宅してくれています。

通常は正午から夕方の6時まで、文化会館の3階にある児童館フロアで子供達の来館をお待ちしていますが、入学前の乳幼児の方もどうぞ家族のどなたとでもいっしょに遊びに来てください。沢山の遊具や幼児図書室もありますので、お気軽にのぞいてください。

## 新 年 祝 賀

明成小学校長 戸田 教一

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年は、新校舎での最初の卒業式、入学式、更には竣工式、公開研究発表会、記念大バザー等いろいろな学校行事にご参加いただき、校区の皆様には、多大なご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

明日への希望あふれて

今ここに集う学舎

いつまでも友達でいよう

いつまでも元氣でいよう

新しい夢となろう

明成の光となろう

今年も、この校歌のような感動と創造に溢れた学校を目指し全教職員あげて努力していきたいと願っています。

いそいそと めをふきて いきいきと

はののびる 一においぐさ— 暁鳥 敏

ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

1998年  
2月号

No298

# 公民館だより

# ひょうたん

発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 祝 成 人 式

誓いの言葉  
「岩本 匡史さん」

名司会「永井さん」



動儀「山本 紀子さん」

## 町公民館成人式



おひさしぶり「赤尾先生」

「力行」  
戸田校長

瓢箪町公民館成人式は金沢スカイホテルにて新成人者58名、来賓、役員25名の参加により挙行されました。「激動の中で自分の位置づけを考えよう」と小原館長の祝辞「力行の教え」と題して感謝・協力・苦労・健康・公共性を大切に」の強調でした。成人者代表岩本匡史君が「激しい変革の時代で私達はがんばる」と誓いの言葉、山本紀子さんは「自分自身の行動に責任と自覚を持つ」と動儀を宣言し成人式を終えました。お世話を下さった役員の方々ありがとうございました。

成人式スナップは公民館に貼ってあります。見に来て下さい。

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 18. 惣構の城と内外惣構堀

#### (2) 東西内惣構堀

利家の死後、慶長4年（1599）上方で加賀候謀叛の風説が流れ、徳川家康は激怒して北国討伐の令をくだした。この事件は石田三成方の増田長盛等の謀略と言われ、利長にすれば寝耳に水のようなできごとであった。

利長は横山長知を大阪へ派遣して、家康に対し逆意なきことを告げ、利長の母芳春院を人質に差し出し、家康の孫珠姫を利常夫人に迎えることで和解した。

一方で利長は戦いに備えて、客将高山右近に惣構を構築するよう命じ、和戦両様の備えをとのえた。一触即発の状況で右近と家臣団による侍普請で、必死になって惣構の構築に取りかかったものと思われ、わずか27日間で掘り上げたのである。

この内惣構堀は、東、西の二つの堀から成っている。

東内惣構堀は、水源を兼六園として旧小尻谷町（東兼六町1番地）より出発し、小将町中学校の横を過ぎ、兼六大通りを横断して北陸鉄道車庫裏から百万石通りを越え、旧寺嶋蔵人邸前より石川銀行浅野川支店裏から枯木橋に至り、主計町より浅野川へ流れている。

西内惣構堀は、尾山神社（旧金谷丸）横の宮守掘から尾山神社前、松原町、青草町、上下近江町（近江町市場）の境を通り、国道159号線を横切り、ダイエー横を東に折れて、袋町より新町と彦三町との境を流れ、旧母衣町へ入り、仏眼寺横より折れてNTT病院裏に沿って緑水苑へ入り、中の橋横で浅野川に合流している。瓢箪地区の南の境でもある。

加能郷土辞彙では、惣構堀の内側はすべて土居を盛り上げ高い所で5間（約9m）或いは3・4間（約4.5m～7m）、低い所で2間（約3.6m）程で、堀の巾は2間から4・5間程あり、構築した時はもっと大きかったと記されている。

一次号につづく一

## 「ボーリング大会」

12月7日ジャンボボールにて校下ボーリング大会を開催致しました。

成績は次の通りです。

### 個人子どもの部 大人の部（男子）

1位 辰橋 純	1位 諸江 泰彦
2位 西川 晃司	2位 中島 勝司
3位 塩本 健太	3位 木村 健次

### 大人の部（女子） 団体の部

1位 奥野 章子	1位 彦三7B
2位 山下千恵子	2位 塩屋下C
3位 田村 道代	3位 彦三4B

## 「かるたとり・歓声」

1月10日、児童館の最初の行事はお正月遊びのかるた大会です。

1. 2年生はかがのとかるた、3. 4年生は百人一首と暖かな日差しを浴びながら28人の子供達は、真剣に取りくみました。

成績は次の通りです。

### 入賞者

### 幼児・1年の部 2年女子の部

1位 松井芽衣子	1位 藤田 理子
2位 なかがわさとみ	2位 竹内 あき
3位 表 理保	3位 かわらゆり

### 2年男子の部 3年女子の部

1位 亀田 祥平	1位 村井美香子
2位 小松 玄児	2位 高木 麻理
3位 塩本 健太	3位 松井波奈子

### 4年女子の部 4年男子の部

1位 水野 優貴	1位 亀田 浩平
2位 南野八重子	2位 松下 悠希
3位 北島阿佑美	3位 中川 雄喜

1998年  
3月号

No.299



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

## 18. 惣構の城と内外惣構堀

## (2) 東西内惣構堀 一前号のつづき一

現在旧惣構の遺構は見るかけもないが、よく注意してみると小立野台地の緩やかな丘段を巧みに利用していることである。自然の地形を利用することで、より手早く強固なものができたのである。

ここで思い起こすのは、摂津有岡城を織田信長が攻めた時惣構をどうしても破れなかつたことである。有岡城は金沢の惣構と同じように、自然の丘段を巧みに利用したものであった。そして火矢などの攻撃に備え、惣構の内側はムラと宿場が点在する閑散な城下町であった。また惣構に沿って、三ヶ所の砦と多くの古井戸が発見されていると言う。おそらく多くの溜水槽を準備していたと思われる。

当時の屋根はほとんど茅ぶきか板ぶきであり、火を防ぐために土を塗ったと言われる。惣構の外は、守備側にとって見通しがきくことが重要である。信長記には、夜狼火(照明弾のようなもの)を打ち上げ真昼のように照らし、蟻が地面にはっているのまでも見えたと記されている。

前田利家が入城した時の金沢は閑村であったと言われ、内惣構堀が構築された頃は、惣構の辺りは田畠も多く家屋もまばらであり、水溜を準備して籠城に備えたものと考えられる。

この安江の地域は独特の青い粘土質の土壤であり、壁土として土居を固めるには非常に有効であった。金沢古蹟志にも「此の土は他国にも甚だ希なる土にて、安江村の地は田畠の地下皆此の土にて……實に名産といふべし」とあり、壁土として全国的に珍しいものであったと記されている。この壁土で固めた土居は乾燥すれば強固となり崩れにくく、水に濡れれば滑りやすく、水捌けが甚だ悪く、堀に水が溜まつてもなかなかひかないのである。

内惣構堀の縄張りを担当した高山右近は歴戦の武将であり、堀の深さ、幅、土居の高さ、惣構の内外の空地の広さなど綿密に計算したにちがいない。高山右近自身、この金沢で戦国武将として最後の生涯を華々しく飾りたいと思うと同時に、家康に一泡ふかしてやりたいと思った心境は、大阪の陣の真田幸村と共通するようにも感じられるのである。

## 「マナー賞」受ける

金沢市のマナーをよくする市民の会より2月23日(月)に南睦会 徳本俊子氏が表彰されました。

緑地公園に設置されているゴミ箱、また公園内などの清掃に率先し身をおしみなく地域マナー意識高揚に貢献されている事に対しての受賞でした。心よりお祝い申し上げます。

## 演題「立志を祝う」

中島 光春

まず立志の祝いとして、14才（元服を中心とした年齢）における人生の節目として、それに相当すると思われる漢文を選んで少しばかり話をした。特に頬山陽の立志の年に詠んだ漢詩を取りあげ、同年としての意欲を促した。漢詩については学校でも勉強をはじめたところであるとの事で。少しでも理解してもらえたのではと思っている。

次に国際化ということで、金沢市の姉妹都市であるロシアのイルクーツク市訪問の際のようすを「折り紙指導」をもとにした現地の受けとり方の積極性を話す。他国との交流を単なる儀礼的なものとして受け取るのではなく、その文化を真剣に取り入れる努力をしている姿を話す。現在の日本も、自分たちの先祖が努力して中国から学んできたものが、現在日常生活の土台の土台となっている事を、具体的な例を挙げて話し、日本の歴史に対して新しい目を開いてもらえばと思った。

## 「立志のつどい」に参加して

少連育成委員長 西川 寛

2月15日、リファーレ金沢にて瓢箪・此花地区の「立志のつどい」が開催されました。中学2年生54名、父兄、役員25名の参加で祝辞、青春メッセージの伝達、記念品授与で式典終了。記念講演として中島元校長先生の折り紙を通じての国際交流体験、国際交流で必要となる日本の年中行事の説明、レベッカ石川県国際交流員の自分のハイスクール生活を当時の写真も回覧しての国際比較、国際社会で活躍していく時の心がまえについて入院中にもかかわらず力強くアピールしていただきました。「質問は」との呼びかけにも積極的に応える参加者もいなく、少々物たりなさを感じましたが、途中退席もなく、最後まで無事終了できました。

立志の日を境として多くの仲間が国際社会へ旅立てる事を希望します。お世話いただいた役員の皆様、ありがとうございました。



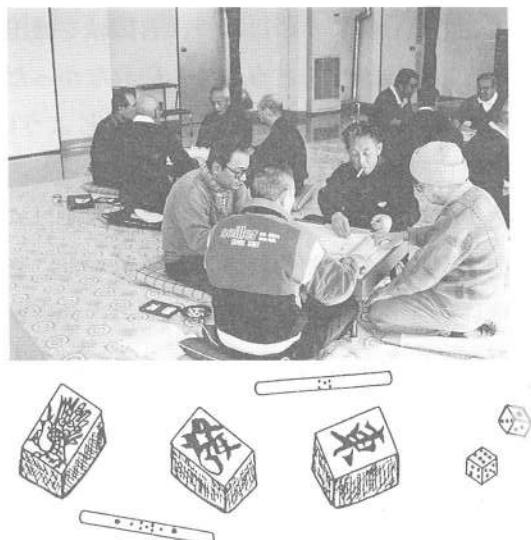
14才の若者

## 「優勝は山崎貞雄さん」

瓢箪町公民館主催のマージャン大会は2月1日(日)午前9時30分より同館2Fホールにて開催されました。地域の方々約30余名の参加により卓上を熱く燃え上がらせました。30分2回戦で勝負し、3回戦、上位順に卓を囲み点数を競い和気相々と和やかな一時を過ごしました。

成績は次の通りです。

- |      |               |
|------|---------------|
| 1 位  | 山崎 貞雄 (彦三 6)  |
| 2 位  | 若林 繁 (彦三 5上)  |
| 3 位  | 西村美樹彦 (巴 町)   |
| 4 位  | 中谷 弘 (彦三 6)   |
| 5 位  | 宮岸 敬治 (塩屋 中)  |
| B・B賞 | 吉室 六輔 (塩屋 中)  |
| 館長賞  | 北浦 宏 (彦三 2下)  |
| 副館長賞 | 笹島 正一 (古 餌 指) |



本年度、館報ご愛読頂き真にありがとうございました。地域の皆様のご支援ご指導のお力で無事1年間発行することが出来ました。生涯学習のニーズに応えるよう、又館報・事業運営など切磋琢磨し努力して邁進して行きたいと思います。今後共ご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

広報委員会